

Pioneer

映像処理対応バックカメラユニット

ND-BC30II

取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

お客様へ

購入後はじめて本機を使うときは、初期設定が必要です。初期設定を行ってからご使用ください。

販売店様へ

取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

- カーオーディオ／カーナビゲーション商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口
： ☎ **0120-944-111**
： 【一般電話】 **03-5496-8016**
- ファックス受付
： **03-3490-5718**

<ご注意>

- 「0120」で始まる☎フリーコールは、携帯電話・PHSなどからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。
- 修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2009

< KNKZX > < 09C00000 > < CZR5146-A >

carrozzeria

必ずお読みください

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

 **注意** この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。

 このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。

 このような絵表示は、必ず行っていただく強制的な内容です。

安全上のご注意（別紙の「安全上のご注意」もお読みください）

警告

[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

警告

[異常時の処置]

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



 ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

[取り付け]

はがれないようにしっかり取り付ける

 取り付け部の接着が弱いと、走行中にはがれて事故の原因になります。ときどき点検してください。

[使用方法]

後方確認は目視で行う

-  ●本製品はドライバーの後方視界を補助するためのもので、全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。バックする際は必ず目視で後方の確認をしてください。
- 本製品は広角レンズを使用しておりますので、近くは広く、遠いところは狭く映り、実際の距離感とは異なる場合があります。バックする際は必ず目視で後方の確認をしてください。

走行前には点検する

-  ●カメラスタンドの取付状態を走行前に点検してください。
 - ネジがゆるんでいないか
 - カメラスタンドがはがれかけていないか
- 走行中にバックカメラがはがれると事故の原因になります。

操作時はブレーキを必ず踏む

 バックギアに入れ本機を操作するときは、必ずブレーキを踏んで停止した状態で操作してください。

注意

[使用方法]

バックカメラのケーブルに傷をつけない

 傷の部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ、故障の原因となります。ご注意ください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

使用上のご注意

- 自動洗車機または、高圧力の水で洗車を行わないでください。カメラ内に水が入ったり、カメラが落下する恐れがあります。
- カメラレンズ表面や本体が凍結した場合にライターなどで加熱しないでください。故障の原因となります。
- 本製品は後方確認用の鏡像タイプです。鏡像タイプとは、バックミラーやサイドミラーと同様に左右対称に映すカメラです。
- RCA 接続で使用した場合、バックギア連動についてはお使いのTVのバックギア連動機能の有無をご確認ください。
- 太陽光を直接映したり、強い光（太陽光のパンパーからの反射等）が入射した場合、光の上下に光の縦線（スミア）が現れる事がありますが故障ではありません。
- 本製品はドライバーの後方視界を補助するためのもので、全ての危険および障害物をカメラで映しだせるものではありません。バックする際は必ず目視で後方の確認をしてください。
- 本製品は広角レンズを使用しております。広角レンズの特性上、近くは広く、遠いところは狭く映りますが、本製品はその特性を歪み補正により最小限抑え、自然に表示されます。ただし、画面端など歪み補正が難しい部分もあります。その部分については実際の距離感と異なりますので、バックする際は必ず目視で後方の確認をしてください。
- 本製品の設定内容はフロントカメラ・バックカメラそれぞれで1つのみ記憶されます。したがって、以下の場合は必ず設定値を変更してからご使用ください。
 - ・車の買い換えなどで、他の車へ付け替えるとき
 - ・取り付け位置を変更したとき
- 本製品を過信せずに注意して運転してください。

仕様

共通部	
使用電源	DC14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	マイナスアース方式
最大消費電流	約 250 mA
出力映像	鏡像 (後方確認用)
映像出力	1 Vp-p (75 Ω)
外形寸法	
バックカメラ	23 (W) × 23 (H) × 24 (D) mm
映像処理ユニット内蔵電源ボックス	94 (W) × 24.6 (H) × 70 (D) mm
ボタンユニット	27 (W) × 27 (H) × 13 (D) mm
質量	
バックカメラ	130 g (ケーブル含む)
映像処理ユニット内蔵電源ボックス	260 g (電源ケーブル含む)
ボタンユニット	95 g (ケーブル含む)
カメラ部	
撮像素子	カラー CCD センサー 1/4 インチ
画素数	492 (垂直) × 512 (水平) (総画素数 約 27 万画素・有効画素数 約 25 万画素)
レンズ	広角 焦点距離 f=0.82 mm F 値 2.6
画角	水平：約 190° 垂直：約 158°
IR カット (車載用特殊フィルター)	有り
アイリス方式	電子アイリス
走査方式	インターレス
同期方式	内部同期
S/N	40 dB 以上 (推奨照度にて)
水平解像度	約 300 TV 本
照度範囲	約 1.5 ~ 10 lx
動作温度範囲	- 30°C ~ +70°C
保存温度範囲	- 40°C ~ +85°C
付属品	
バックカメラ (ケーブル長 7 m)、電源ケーブル (3 m)、RCA ピンケーブル (3 m)、映像処理ユニット内蔵電源ボックス、ボタンユニット (ケーブル長 4 m)、六角レンチ、クランパー、面ファスナー、防水パッド、両面テープ、取扱説明書、安全上のご注意、保証書、修理窓口・ご相談窓口のご案内	

メモ

- 本機の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

接続・取り付け部品を確認する



取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

- バックカメラは確実に取り付け、固定してください。確実に固定しないと、走行中に外れたりする危険性があります。
- バックカメラを取り付けたい位置に合わせます。バックカメラの角度を調整して、バックカメラが車両に当たらない位置に取り付けてください。
- ガラス面に取り付ける場合は、リアワイパーがカメラに当たらない位置に取り付けてください。
- 後方の視界を妨げない位置に取り付けてください。
- 車幅からはみださない位置に取り付けてください。
- 車の進行方向に対してまっすぐ取り付けてください。



- 地面から 0.8m より上に取り付けてください。取り付け位置が地面から 0.8m より低いと映像補正が行えず、バックカメラ映像が歪むことがあります。
- バックカメラは車の中央付近に取り付けてください。
- バックカメラを中央付近に取り付けられない場合でも、初期設定によりバックカメラ映像の位置や角度を調整することができます (詳しくは「はじめてお使いになるときに設定をする」)。ただし、車両の端など中央から離れた位置では正しく調整が行えない場合があります。

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

粘着テープを貼り付ける前に

- 面ファスナーや両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。

- 取り付けは天気の良い日中に行ってください。雨や霧の日など湿気が多いときに取り付けると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。
- ガラス面に取り付けるときは、取り付ける面の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除き、乾いたあとにきれいな布でふき取ってください。湿気・油などがあると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。
- 気温が低いときにガラス面に取り付けるときは、接着力の低下を防ぐため、粘着テープの接着面と取り付け面を、車内ヒーターやリアデフォグスイッチを ON にして暖めておいてください。(20°C以上)
- 粘着テープの接着面は指で触れたり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。
- カメラスタンドをフッ素樹脂加工処理された車体やガラスに貼り付けしないでください。バックカメラが落下する恐れがあります。
- 取り付け後、24時間以内は絶対に水気（水、雨、霧、雪など）に当たらないでください。また、バックカメラに無理な力が加わるようなことはしないでください。
- フロントカメラ「ND-FC100II」を本機に接続できるのは、ナビゲーション側のカメラ入力端子が専用接続端子になっている場合のみです。この場合以外は接続できません。

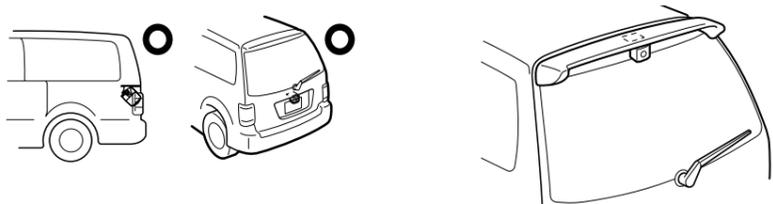
取り付け例

⚠️ ご注意

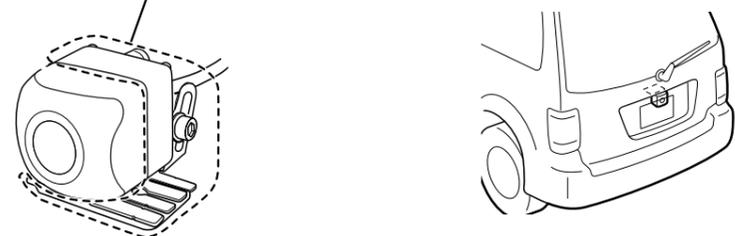
●本製品のカメラ前面部は「道路運送車両の保安基準第18条第1項第2号」に準拠しています。保安基準に適合させるため、取り付けるときは、図のように取り付けてください。正しく取り付けないと、「道路運送車両の保安基準」に適合しない場合があります。

バックカメラの正しい取り付け例

●カメラ後部を必ず車両に隠れるように取り付けてください。

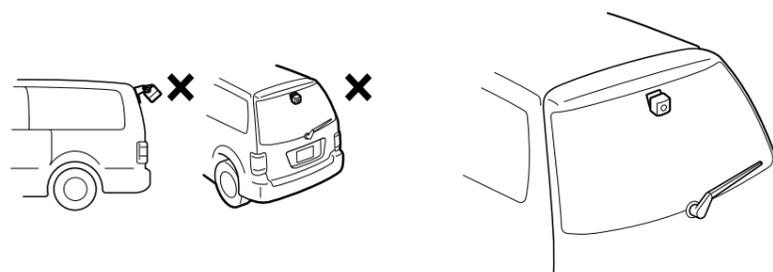


カメラ後部(破線部分)を必ず隠れるよう取り付けてください。



バックカメラの誤った取り付け例

●カメラ後部を車両に隠れない取り付けをしないでください。



メモ

●バックカメラは車の中央付近に取り付けてください。
●バックカメラを中央付近に取り付けられない場合でも、初期設定によりバックカメラ映像の位置や角度を調整することができます(詳しくは「はじめてお使いになるときに設定をする」)。ただし、車両の端など中央から離れた位置では正しく調整が行えない場合があります。

バックカメラの取り付け

取り付け場所に合わせたカメラスタンドの金具の取り付け

カメラスタンドの取付金具 B の取り付け方向を変えることにより、取り付け方のバリエーションが増えます。車の形状や取り付け位置に合わせて変更してください。

1. カメラスタンドの取付金具 A、B を止めているネジを付属の六角レンチで外す
2. 取付金具 B の方向を変える



メモ

●取付金具 A と B を固定するためのネジ穴は 2 か所あります。取り付け場所に合わせて、ネジ穴の位置を選択してください。

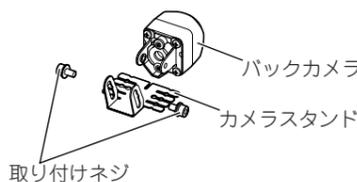
1 バックカメラを取り付ける面の汚れをふきとる

取り付け面に付着している湿気、ホコリ、汚れ、油などをふきとります。



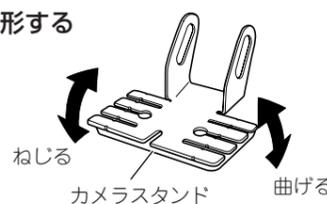
2 バックカメラをカメラスタンドから外す

付属の六角レンチで取り付けネジを外してください。



3 カメラスタンドを取り付ける面に合わせて整形する

「取り付け例」を参考にし、取り付け場所に合わせてカメラスタンドを整形してください。



4 手順2で取り外したカメラスタンドを取り付けネジでバックカメラに取り付ける

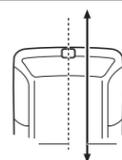
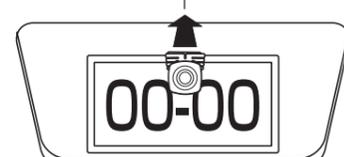
バックカメラの上下を間違えないように取り付けてください。



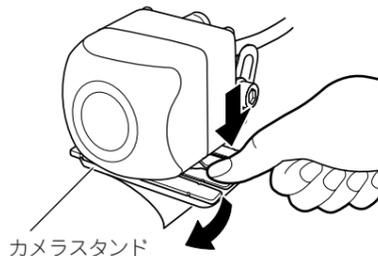
5 カメラスタンド裏面のシートをはがして、貼り付ける

カメラスタンドを指で押して、貼り付け面を密着させてください。接着面に手を触れたり、貼り直したりすると、接着力が低下してカメラスタンドがはがれる恐れがあります。

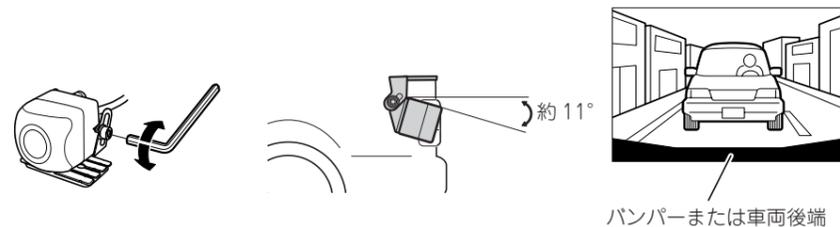
ナンバーを隠さないように貼り付けてください。また中央部分に貼り付けてください



車の進行方向に対してまっすぐ取り付けてください。



6 バンパーまたは車両後端がテレビ画面の下の端に映るように、角度を調整する



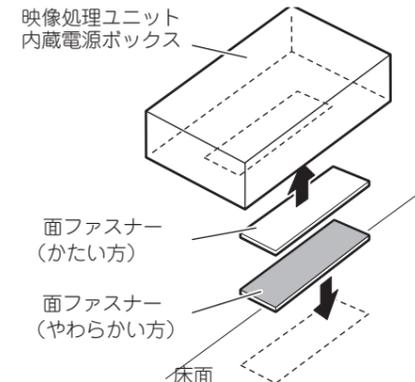
メモ

●バンパーまたは車両後端がテレビ画面の下の端に映らない場合でも、初期設定によりバックカメラ映像の位置や角度を調整することができます。詳しくは「はじめてお使いになるときに設定をする」を参照してください。

電源ボックス及びボタンユニットの取り付け

映像処理ユニット内蔵電源ボックスを取り付ける

面ファスナー(かたい方)を映像処理ユニット内蔵電源ボックスの底面に、面ファスナー(やわらかい方)を取り付け場所に貼り付けます。

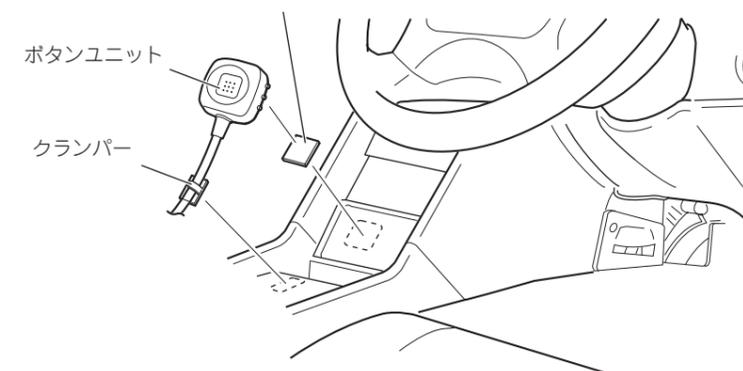


メモ

●面ファスナー(かたい方)がカーペットに貼り付く場合は、カーペットに直接取り付けることもできます。この場合、面ファスナー(やわらかい方)は使用しません。
●バックカメラのケーブルが届く場所に映像処理ユニット内蔵電源ボックスを取り付けてください。

ボタンユニットを取り付ける

両面テープ(小)

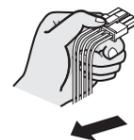


接続する

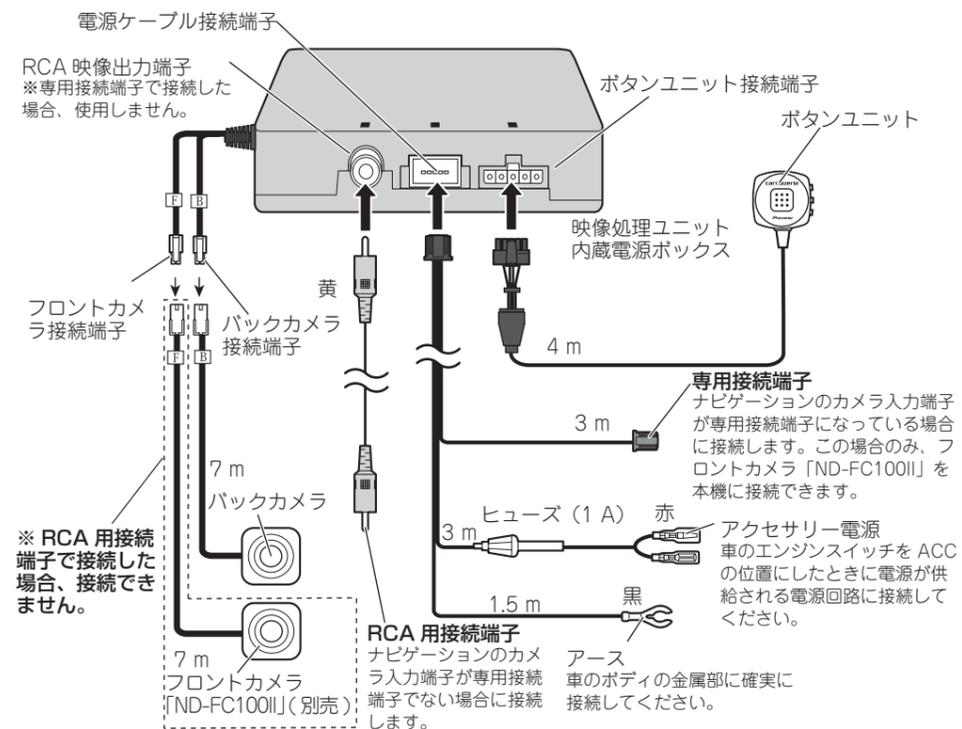
コネクターの着脱のしかた

●コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、コネクターの上下の向きを確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となります。

●コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持ってロックを押しながら、引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



接続図

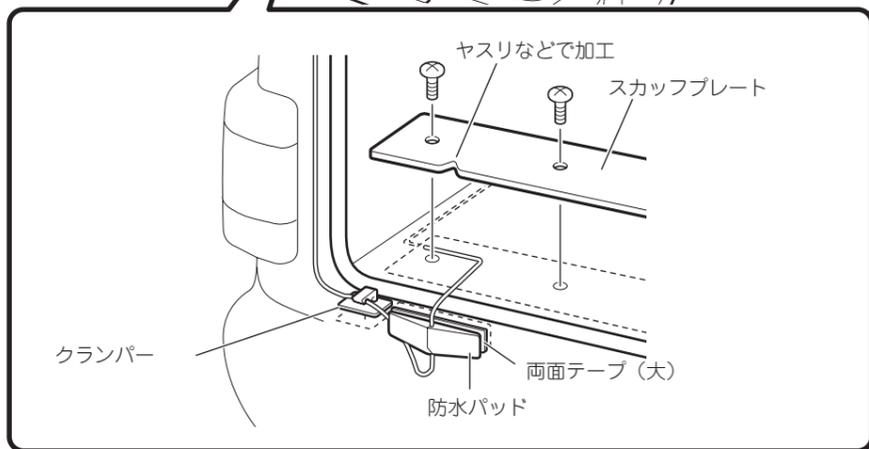
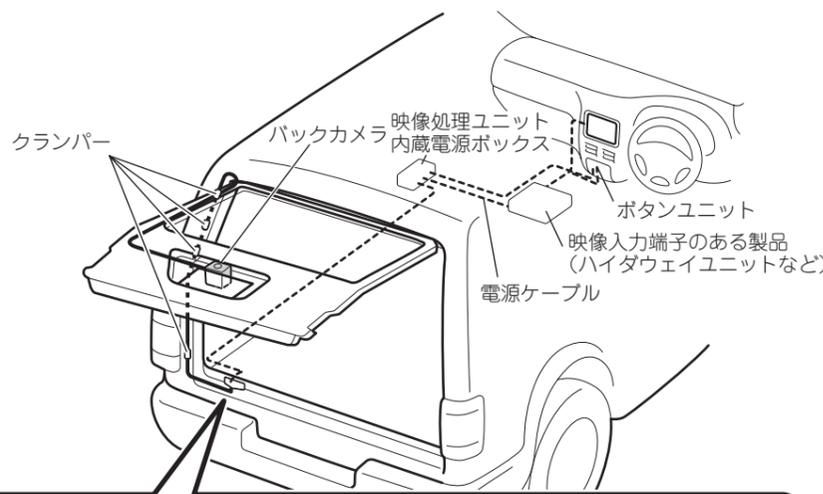


注：RCA 接続の場合、バックギア運動についてはお使いの TV のバックギア運動機能の有無をご確認ください。

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

注：電源リード線のヒューズから本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

バックカメラのコードを処理する



注：AM ラジオに雑音が入る場合は、車両のアンテナからバックカメラのコードを離してください。

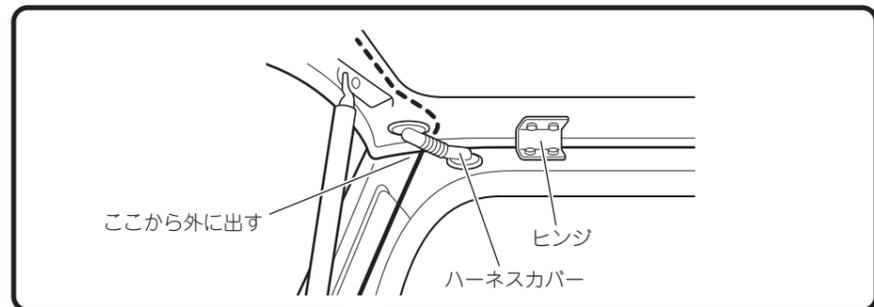
注：クランパーを取り付ける部分は、湿気、ホコリ、汚れ、油などをふきとってください。

注：バックカメラのコードは、テレビアンテナのケーブルから離してください。

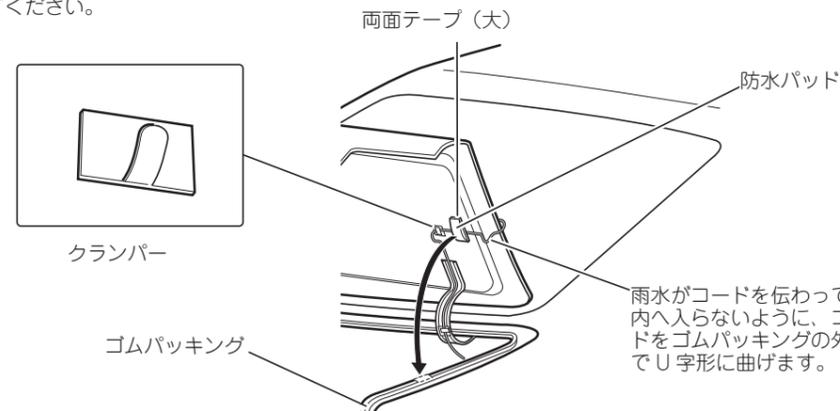
注：クランパーを車両の外側につける場合は、ケーブルをはさむ部分をしっかりと押し、突出量を 5mm 未満にしてください。

コード処理のポイント

●コードを車外に引き出すときは、バックドアのハーネスカバーとヒンジの外側を引き回してください。

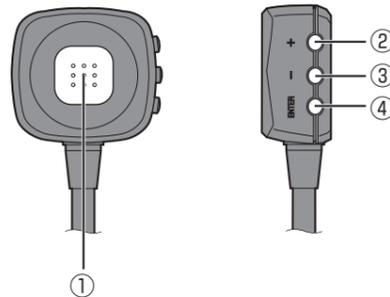


●車種によってバックカメラのコードを下側から車内へ引き込めない場合、図のように防水パッドの手前でコードを U 字に曲げ、雨水などがコードを伝わって車内に入らないようにしてください。



各部の名称とおもな働き

ボタンユニット



- ① **モードボタン**
画面表示モードを切り換えるときに使います。また、設定画面では一つ前の画面に戻るときや操作を中止するときに使います。
- ② **+ ボタン**
設定画面で項目を選ぶとき、または位置や角度の調整をするときに使います。
- ③ **- ボタン**
設定画面で項目を選ぶとき、または位置や角度の調整をするときに使います。
- ④ **ENTER ボタン**
設定画面の表示や項目の決定をするときに使います。

カメラの設定について

設定の前に

- 設定するときは、必ずエンジンをかけて行ってください。
- 設定は途中でエンジンを切ると設定が記憶されません。設定が終了するまでエンジンを切らないでください。
- 初期設定する場合は、自車幅の位置がわかる白線のある駐車場で行ってください。
- 設定中の事故を防ぐため、車を完全に停車できるタイヤ止めのある駐車場で設定を行ってください。
- 設定は撮影したバックカメラ映像の写真をもとに行います。実際の後方の状況とは異なります。
- 本機の操作はボタンユニットで行います。接続した製品がタッチパネル操作に対応している場合でも、タッチキーで操作することはできません。

● フロントカメラ(別売)を接続した場合

本機に別売のフロントカメラ「ND-FC100II」を接続した場合は、設定方法が「ND-FC100II」に記載の内容と異なります。下記を参考に、それぞれの取扱説明書をお読みください。

説明内容	お読みいただく取扱説明書
●フロントカメラの取り付け方法 ●設定に入る前の準備(フロントカメラ)	フロントカメラ「ND-FC100II」の取扱説明書
●設定方法全般	本書

● メモ

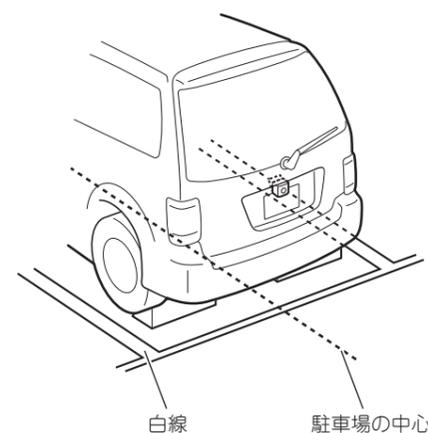
- 本機にフロントカメラを接続したときは、ナビゲーションの「カメラ設定」を「バックカメラ+フロントカメラ」に設定してください。
- 必要に応じてナビゲーションのカスタムボタンに「フロントカメラ映像表示」を割り当ててください。→「ナビゲーションの取扱説明書」

● 設定に入る前の準備 (バックカメラ)

本機の設定はバックカメラ取り付け位置から見たバックカメラ映像の写真撮影を行い、車のタイヤ止めのある安全な場所に移動させてから、撮影した写真をもとに設定を開始します。設定に入る前に、写真の撮影を行う場所へ車を移動させます。

1 車を止める

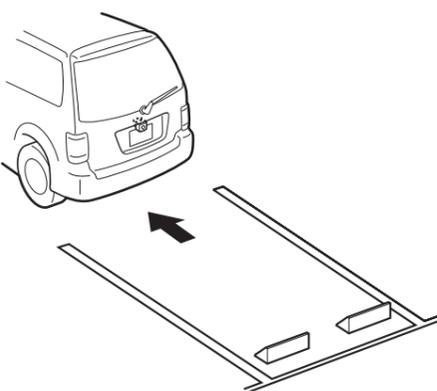
白線のある駐車場の中央に止めてください。



白線 駐車場の中心

2 車を前に出す

車を止めた場所から写真を撮影する場所まで車を前進させます。



上記写真を目安に、点線に白線が掛かる位置で撮影を行ってください。

- 注：設定は白線とタイヤ止めのある駐車場で行ってください。
注：白線の中央から車の位置がずれてしまうと正しく設定できません。
注：設定を行うためのコツを で記載します。これをご確認のうえ、設定をおこなってください。

● はじめてお使いになるときに設定をする

本機をお使いになるときは必ず初期設定を行ってください。「設定に入る前の準備」を参照し、写真撮影をする場所に車を止めてから設定を開始します。

1 ナビゲーションのカメラ入力の設定を行う

「ナビゲーションの取扱説明書」をお読みください。

2 カメラ映像を表示させる

- RCA用接続端子で接続した場合
バックギアに入れる。

注：設定をするときは、必ずパーキングブレーキを引き、ブレーキを踏んで停止した状態で行ってください。

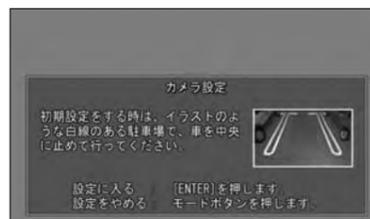
- 専用接続端子で接続した場合(例：「AVIC-HRZ099」)
[お出かけ] ボタンを押し、【情報・通信/設定】 - 【調整補正】 - 【カメラ映像表示】 にタッチし、【フロントカメラ】または【バックカメラ】にタッチする。

● メモ

- フロントカメラを接続した場合は、フロントカメラとバックカメラそれぞれで設定が必要です。その際は、バックカメラ側の設定を先に行ってください。

3 ボタンユニットのENTERボタンと+ボタンを同時に押す

4 ボタンユニットのENTERボタンを押す



5 ボタンユニットのENTERボタンを押す

6 写真の撮影をする

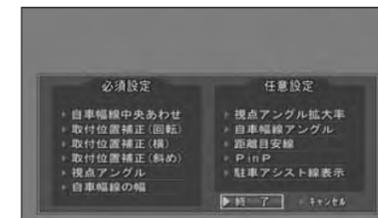
設定に使用する写真を撮影します。「写真の撮影をする」を参照し、撮影してください。

7 必須設定を行う

撮影した写真をもとに「必須設定をする」の①～⑦を順に設定します。「必須設定をする」を参照し、設定してください。

8 ボタンユニットのENTERボタンを押す

9 【終了】を選び、ボタンユニットのENTERボタンを押す



● メモ

- 設定が終了すると写真データは削除されます。

注：自車幅線及び距離目安線は、あくまで目安です。必ず車両周辺を直接確認してください。

● 写真の撮影をする

設定を行う際に使用する写真を撮影します。(設定のしかたは「はじめてお使いになるときに設定をする」「必須設定を変更またはその他の設定をする」)

1 ボタンユニットのENTERボタンを押す



2 ボタンユニットのENTERボタンを押す

写真撮影はタイヤ止めや白線が写真内におさまるように撮影します。



バックカメラ映像の写真が撮影されます。



3 ボタンユニットのENTERボタンを押す

写真が良ければENTERボタンを押します。撮り直す場合は、モードボタンを押します。

4 ボタンユニットのENTERボタンを押す

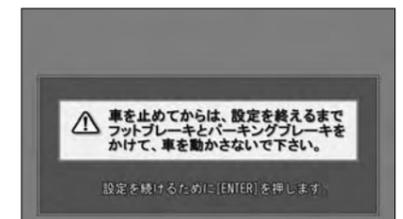
5 車をタイヤ止めのある安全な場所に移動させる

写真を撮影した場所からタイヤ止めのある場所まで移動させます。

注：車を移動させた後は、完全に車を停車させてください。
注：エンジンは切らないでください。エンジンを切ると写真データが消失します。

6 ボタンユニットのENTERボタンを押す

7 ボタンユニットのENTERボタンを押す



「はじめてお使いになるときに設定をする」から進んできた場合：
「はじめてお使いになるときに設定をする」の手順7に進みます。
「必須設定を変更またはその他の設定をする」から進んできた場合：
「必須設定を変更またはその他の設定をする」の手順6に進みます。

必須設定をする

必ず設定しなければならない設定を必須設定と言います。必須設定は初期設定の中で設定します。後から設定を変更することもできます。

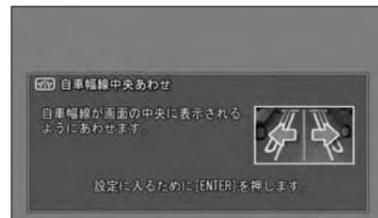
① 自車幅の目安となる線を画面の中央に合わせる（自車幅線中央あわせ）

接続されるモニターの調整を行います。その自車幅線が画面の中央に表示されるように調整してください。

メモ

- 自車幅線とは駐車時に参考となる自車幅の目安線のことで（オレンジ線）。

1 ボタンユニットのENTERボタンを押す



2 ボタンユニットの+または-ボタンで画面の中央に調整する

画面両側の線が同じ数になるように調整します。



− 63 ~ + 63 の範囲で調整できます。

② 角度を補正する（取付位置補正（回転））

バックカメラ取り付け位置から見たバックカメラ映像の回転を調整します。

1 ボタンユニットのENTERボタンを押す



2 ボタンユニットの+または-ボタンで角度を調整する

水平線に沿って目安となるもの（タイヤ止めなど）が表示されるよう角度を調整します。



水平線

− 511 ~ + 511 の範囲で調整できます。

メモ

- 設定によっては見えない部分が出ます。

③ 位置を補正する（取付位置補正（横））

バックカメラ取り付け位置から見たバックカメラ映像の横を調整します。

1 ボタンユニットのENTERボタンを押す



2 ボタンユニットの+または-ボタンで横の位置を調整する

駐車場の中央がバックカメラ画面の横方向の中心に表示されるように調整します。



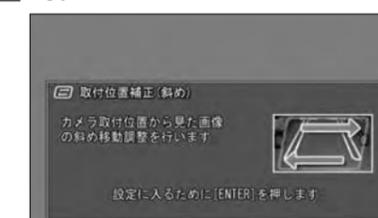
横方向の中心線

− 63 ~ + 63 の範囲で調整できます。

④ 傾きを補正する（取付位置補正（斜め））

バックカメラ取り付け位置から見たバックカメラ映像の傾きを調整します。

1 ボタンユニットのENTERボタンを押す



2 ボタンユニットの+または-ボタンで斜めを調整する

駐車場の白線が対称に表示されるように斜めを調整します。



中心線

− 255 ~ + 255 の範囲で調整できます。

⑤ 真上から見た視点の調整をする（視点アングル）

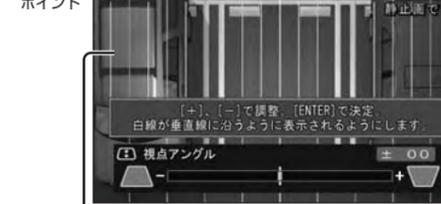
真上から見た視点（ハイアングルモード）の角度を調整します。

1 ボタンユニットのENTERボタンを押す



2 ボタンユニットの+または-ボタンで角度を調整する

駐車場の白線が垂直線に沿うように表示されるように角度を調整します。



垂直線

− 511 ~ + 511 の範囲で調整できます。

3 ボタンユニットのENTERボタンを押す

「はじめてお使いになるときに設定をする」から進んできた場合：「⑤ 真上から見た視点の調整をする」に進みます。「必須設定を変更またはその他の設定をする」から進んできた場合：「必須設定を変更またはその他の設定をする」の手順6に戻ります。

⑥ 自車幅の目安線を調整する（自車幅線の幅）

自車幅線の幅を調整します。

1 ボタンユニットのENTERボタンを押す



2 ボタンユニットの+または-ボタンで位置を調整する

駐車場の白線を目安に位置を調整します。



自車幅線

− 255 ~ + 255 の範囲で調整できます。

3 ボタンユニットのENTERボタンを押す

「はじめてお使いになるときに設定をする」から進んできた場合：「⑥ 自車幅の目安線を調整する」に進みます。「必須設定を変更またはその他の設定をする」から進んできた場合：「必須設定を変更またはその他の設定をする」の手順6に戻ります。

必須設定を変更またはその他の設定をする

初期設定にて設定した必須設定の内容を変更することができます。
また「視点アングル拡大率」や「自車幅線アングル」など、その他の設定ができます（任意設定）。
「設定に入る前の準備」を参照し、写真撮影をする場所に車を止めてから設定を開始します。

1 カメラ映像を表示させる

■ RCA 用接続端子で接続した場合
バックギアに入れる。

注：設定をするときは、必ずパーキングブレーキを引き、ブレーキを踏んで停止した状態で行ってください。

■ 専用接続端子で接続した場合（例：「AVIC-HRZ099」）

「お出かけ」ボタンを押し、【情報・通信/設定】 - 【調整補正】 - 【カメラ映像表示】にタッチし、【フロントカメラ】または【バックカメラ】にタッチする。

メモ

● フロントカメラを接続した場合は、フロントカメラとバックカメラそれぞれで設定が必要です。その際は、バックカメラ側の設定を先に行ってください。

2 ボタンユニットの ENTER ボタンと+ ボタンを同時に押す

3 ボタンユニットの ENTER ボタンを押す

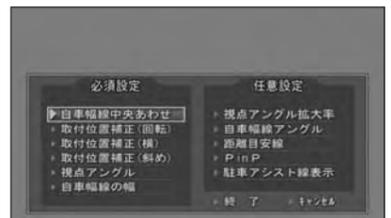


4 ボタンユニットの ENTER ボタンを押す

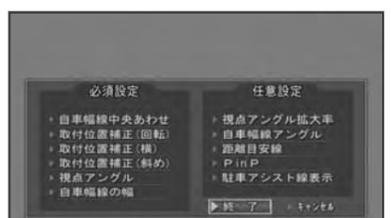
5 写真の撮影をする

設定に使用する写真を撮影します。「写真の撮影をする」を参照し、撮影してください。

6 ボタンユニットで設定する項目を選び、ENTER ボタンを押す



7 【終了】を選び、ボタンユニットの ENTER ボタンを押す



メモ

● 設定が終了すると写真データは削除されます。

注：自車幅線及び距離目安線は、あくまで目安です。必ず車両周辺を直接確認してください。

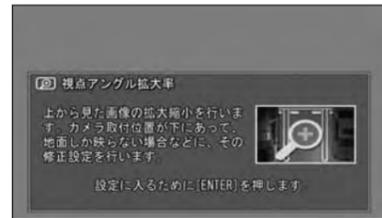
任意設定をする

「視点アングル拡大率」や「自車幅線アングル」などの設定ができます。

① 上から見た画面の拡大/縮小をする（視点アングル拡大率）

バックカメラ取り付け位置の高さによって、ハイアングルモードにしたときに地面しか映らない、または小さすぎて見にくい場合に調整します。

1 ボタンユニットの ENTER ボタンを押す



2 ボタンユニットの+または-ボタンで拡大率を調整する



- 63 ~ + 63 の範囲で調整できます。

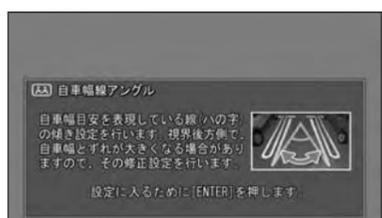
3 ボタンユニットの ENTER ボタンを押す

「必須設定を変更またはその他の設定をする」の手順6に戻ります。

② 自車幅線の傾きを調整する（自車幅線アングル）

視界後方側で車幅とずれが大きくなる場合に、自車幅のハの字の傾きを調整します。

1 ボタンユニットの ENTER ボタンを押す



2 ボタンユニットの+または-ボタンで角度を調整する



自車幅線

- 127 ~ + 127 の範囲で調整できます。

3 ボタンユニットの ENTER ボタンを押す

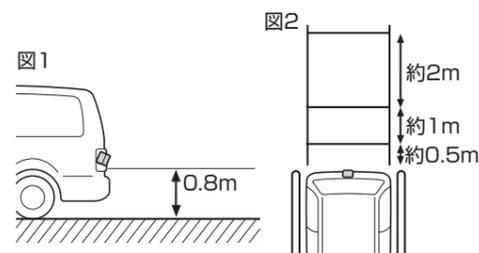
「必須設定を変更またはその他の設定をする」の手順6に戻ります。

メモ

● 自車幅線アングルは、必須設定の「視点アングル」や「自車幅線の幅」の調整により変動します。

③ 距離目安線を調整する（距離目安線）

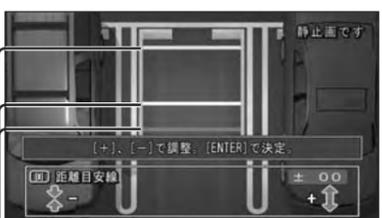
距離目安線の間隔を調整することができます。
初期値は図1の位置で取り付けした場合、図2の間隔で距離目安線を表示します。



1 ボタンユニットの ENTER ボタンを押す



2 ボタンユニットの+または-ボタンで間隔を調整する



距離目安線

- 255 ~ + 255 の範囲で調整できます。

メモ

- 距離目安線とは、駐車時に参考となる3本の目安線のことです（緑線、黄線、赤線）。
- 必須設定の「視点アングル」を工場出荷時の状態から調整した場合、図2に記載されている距離間隔（約0.5m、約1m、約2m）が変動します。

3 ボタンユニットの ENTER ボタンを押す

4 ボタンユニットの ENTER ボタンを押す

「必須設定を変更またはその他の設定をする」の手順6に戻ります。

④ 画面に表示される子画面の位置を変更する（Pin P）

バックカメラ映像に表示される子画面（ピクチャーインピクチャー）の位置を変更することができます。

1 ボタンユニットの ENTER ボタンを押す



2 ボタンユニットの+または-ボタンで表示位置を選ぶ

子画面の表示位置は以下のように切り換わります。



3 ボタンユニットの ENTER ボタンを押す

「必須設定を変更またはその他の設定をする」の手順6に戻ります。

メモ

● この設定で対象となる子画面の位置変更は、本機に搭載されたPin P機能です。組み合わせたナビゲーションやテレビのPin P機能はナビゲーションやテレビ側で設定してください。

⑤ 距離目安線と自車幅線の表示/非表示を切り換える（駐車アシスト線表示）

距離目安線と自車幅線（駐車アシスト線）の表示をON/OFFできます。

1 ボタンユニットの ENTER ボタンを押す



2 ボタンユニットの+または-ボタンで表示の ON/OFF を選ぶ



3 ボタンユニットの ENTER ボタンを押す

4 ボタンユニットの ENTER ボタンを押す

「必須設定を変更またはその他の設定をする」の手順6に戻ります。

本機の設定を工場出荷時に戻す

本機の設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。
次のようなときは、出荷時設定を行ってください。

- カメラの位置を変更したとき
- 使用する車を変更したとき

1 ボタンユニットのモードボタンとENTER ボタンを同時に押す

メモ

- 出荷時設定をやめる場合は、モードボタンを押します。

2 出荷時の設定に戻すカメラを選んで、ボタンユニットのENTER ボタンを押す

ボタンユニットの+または-ボタンで出荷時の設定に戻すカメラを選択します。
選択されたカメラのすべての設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。



画面表示について

本機は3種類の画面を表示することができます。

ノーマルアングルモード+子画面 (ハイアングルモード) :

後方を見た視点のバックカメラ映像です。
水平約 120° 垂直約 100° で映像処理をしています。



ハイアングルモード+子画面 (ノーマルアングルモード) :

真上から見た視点のバックカメラ映像です。



ワイドモード (子画面なし) :

後方の横幅を広くしたバックカメラ映像です。
水平約 190° 垂直約 158° の映像です。



メモ

- 任意設定で子画面の位置を変更することや子画面の表示を消すことができます。設定のしかたは「任意設定する」を参照してください。
- 画面上部左側にバックカメラアイコンが表示されるのは、専用接続端子で接続した場合は、RCA用接続端子で接続した場合は、表示されません。

画面表示モードを切り換える

1 バックカメラ映像が表示されているときに、モードボタンを押す

画面表示モードが切り換わります。
モードボタンを押すごとに、以下のように切り換えることができます。

2 画面 例：左上の場合 :

ノーマルアングルモード+子画面 (ハイアングルモード)



ワイドモード (子画面なし)



ハイアングルモード+子画面 (ノーマルアングルモード)



メモ

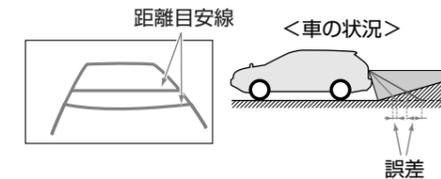
- エンジンを切ると、画面表示モードはノーマルアングルモードに戻ります。
- 任意設定の P in P の設定が非表示の場合、子画面は表示されません。

付録

画面と実際の路面との誤差

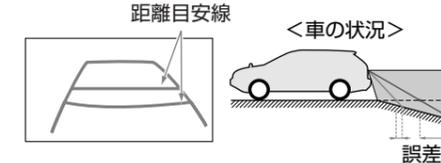
以下の状態のときは、画面の距離目安線と実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

急な上り坂が後方にあるとき



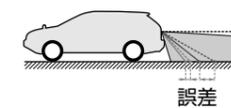
距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合は、実際より遠くにあるように見えます。同様に距離目安線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

急な下り坂が後方にあるとき



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりも後ろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。同様に距離目安線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

車が傾いているとき



乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路に誤差が生じます。